

令和 5 年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会 第 3 回会議 会議録

日 時：令和 6 年 3 月 22 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時
場 所：笛吹市御坂生涯学習センター1 階 会議室 1 及び会議室 2
出席者：◇社会教育委員（敬称略）
金子寛、坂野修一、須田徹、渡邊真史、内田勝也、加々美恭子、
金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、小林千澄、中村拡、原百枝
◇教育委員会
太田教育部長、望月文化財課長、吉岡図書館長
◇事務局
荻原生涯学習課長、生涯学習担当 生原リーダー、海野
欠席委員（敬称略）：田中真理、廣瀬志保、山口隆夫

【進行：生涯学習課長】

次第 1 開会のことば

次第 2 議長兼会長あいさつ

<議長兼会長> 皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。3 月下旬ですが、このところ寒暖差が大きいためお互いに体調管理に気を付けていきたいと思いを思います。

本日の会議は、今年度最後の会議となります。また、今年度に改修された御坂生涯学習センターの見学を兼ねていますので、すでに施設を利用された委員もいるかと思いますが、施設についての御意見をいただきたいと思いを思います。

委員の皆様には、一年間、会議への御出席や県協議会の総会や研修への御参加など御協力をいただき、誠にありがとうございました。本日の会議のおいでも積極的な御意見等を出していただき、笛吹市社会教育行政に寄与できますように御協力をお願いいたします。

次第 3 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から小林千澄氏が会議録署名委員に指名された。

次第 4 議事

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 2 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、文化財課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

<委員> 俳句会表彰式について、市内小中学校在籍の受賞者が欠席することが多く、県外などの遠方から受賞者が来ているのに、市内の児童生徒が欠席している現状を改善したほうが良い。学校から受賞児童生徒へ出席の推奨をしてもらうように事務局の生涯学習課が学校へ依頼をしてはどうか。

<議長> 私も、表彰式へ出席して同じように感じたので事務局は、ぜひ、表彰式への出席について管内の小中学校へ働きかけてほしい。

<生涯学習担当> 今後、管内の小中学校へ依頼をし、表彰式への出席率の改善に取り組んでいきたい。

<委員> 俳句会について、今年度は台湾の小学校から応募があったとのことだが、海外への周知はどのようにしているのか。

<生涯学習担当> 笛吹市のホームページで周知している。今回応募いただいた台湾の学校は、日本語指導の講師が、コンクールへの取り組みに熱心であり、国内のコンクールへの応募実績も多々あったため、全国の小中学生を対象とした笛吹市の俳句会へも取り組んでいただけたのではないかと推測する。

今後は、より海外からの応募も増やしていけるように、引き続き笛吹市のホームページで周知する他、観光施設や温泉旅館などに募集要項を置き、海外観光客へ周知できるように取り組んでいきたい。

<委員> 市民講座の開催場所について、今回は27講座開催されるが、石和地区の開催講座数が多いのは理解できるが、一宮地区で開催している講座が一つしかないのはなぜか。

<生涯学習担当> いちのみや桃の里ふれあい文化館が令和6年度4月8日から大規模な改修工事に入り8月末までは利用できないため、前期市民講座については、一宮支所で1講座開催のみになる。通常であれば、一宮地域の方が参加しやすいように、いちのみや桃の里ふれあい文化館などで開催する予定である。

<委員> 承知した。続けて質問だが、文化財課の説明の中でデジタルコンテンツの部分で情報発信の評価について具体的に、うかがいたい。

<文化財課長> デジタルコンテンツについては、デジタル技術を使った様々取り組みを表現している。例えば、文化財の看板に QR コードを掲示することで、QR コードを読み込み、パンフレットをすぐに見ることができる取り組みをすでに行っている。
また、AR (Augmented Reality「拡張現実」) や VR (Virtual Reality「仮想現実」) などの技術を利用してスマホをかざして立体的に見ることができるようなことを今後、考えている。

<委員> 承知した。

<委員> 生涯学習課の市民講座について、文字のトレーニング講座が今回の市民講座にはないが、今後、企画していただけるか。

<生涯学習担当> 過去に、美文字トレーニングや書道の講座を開催しているので、今後、同様の講座が開催できるか検討していきたい。

<委員> 生涯学習課の市民講座の講師について意見がある。市内には笛吹高等学校があり、すいれき太鼓を始め様々な部活動が充実している。高校生たちは、専門性を学び一生懸命取り組んでいるので、市民講座の講師を高校生が務めるということも良いと思う。太鼓教室やパソコン教室、またはワインの製造についても学んでいるのでワインを作る講座などの講師を高校生が務められるように笛吹高等学校と連携を図っては、いかがか。高校生にとっても、良い経験となると思う。

<生涯学習担当> 笛吹高等学校と連携した講座の開催ができるか、検討する。

<委員> 市民講座の開催時間について、日中が多いため参加が難しいという声を聞くので、参加したい市民が参加できる時間帯の企画を検討してほしい。今回の講座は 6 つが夜間の時間帯開催しているが、今後、増やしてはいかがか。

<生涯学習担当> 講座の開催時間について、今後、講座を企画しているコーディネーターと、講師や会場等を考慮しながら夜間の時間帯に開催できる講座を増やしていけるか、検討をする。

<委員> 承知した。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

(3)その他について

事務局から、いちのみや桃の里ふれあい文化館の施設改修及び生涯学習センターについて施設概要の説明を行い、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

- <委員> この御坂生涯学習センターの1階トイレを先ほど利用したが入り口から奥にあり、またイベントをする場所の前の通路を通らなければならないため、イベント開催時は不便に感じる。
- <委員> 先日、御坂町文化祭へ参加した際、感じたことだが、以前の御坂農村環境改善センターで舞台を使用して開催していた時と比べると御坂生涯学習センターのイベント開催場所は、既存の施設を改修して社会教育施設としているので仕方ないと思うが、見劣りがしてしまい、気の毒に感じた。
- <委員> 学びの広場ふえふきで行っている、土曜学びの広場教室で利用しているが、静かで落ち着いて利用できる良い施設だと実感している。
- <委員> この御坂生涯学習センターの稼働率をうかがいたい。
- <生涯学習担当> 具体的な数字は、現段階ではお答えができないが、予約状況をみると、以前の農村環境改善センターに比べて大幅に減少したということはない。
- <委員> 御坂生涯学習センターの施設について、貸出部屋の紹介や設備なども含め周知し、施設の活用促進につながる具体的な広報をしているか。
- <生涯学習担当> 施設内の設備については、詳細までは周知していない。また、施設の活用促進に向けた具体的な広報は、していないが、御坂地域の主な施設利用団体を対象に御坂生涯学習センターが利用開始される際には、施設見学会を開催したり、また、利用開始については広報に掲載するなど行った。
- <委員> 雨など悪天候の日は、正面玄関にマットはあるが、泥を落

としきれず、施設内が土足のため汚れやすい。また、学習会で消しゴムのカスが出るため、その都度掃除するが施設にある掃除用具だけでは大変なため、掃除用具の充実をした方がよい。また、悪天候の際は、正面玄関で施設内をできる限り汚さないように注意喚起やマットを増やすなどの取り組みが必要ではないか。

<生涯学習担当> いただいた意見を今後検討する。

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

(2) その他について

質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、終了した。

次第 6 その他

事務局から今年度、委員報酬の振り込みについて、3月29日に予定しているため、確認いただきたいとの連絡事項があった。

次第 7 閉会のことば

議 長

議事録署名委員